

今年も

JA自慢の土づくり実証米を食べて

新米直売会開催しました

JA秋田しんせいは10月9日と16日の2日、新型コロナウイルスの影響などで落ち込む米の消費拡大につなげようと新米直売会を開催しました。

JAが土づくりにこだわった高品質良食味米の独自ブランド「土づくり実証米」の「ひとめぼれ」と「あきたこまち」の玄米(1袋30kg)、合計1,700袋、51トンを販売しました。



また、直売会にはJA女性部員も協力。新米のおにぎりの試食会を行い、来場者をもてなしました。

営農経済部米穀課の今野薫課長は「JAでは長年、土づくりにこだわって取り組んできており、令和3年産米もタンパク値も低く良食味で、皆さまに自信を持ってオススメできるお米だ」と話しました。

小松忠彦組合長は「前回よりもたくさんの方々にご購入いただき、感謝しています。管内でとれた新米を味わってJAのファンになってもらいたい」と話しました。

販売は事前予約制で、JAのホームページや電話などで受付け。前年購入者の口コミなどで評判が広まり、おかげさまで前年の販売数より700袋を増えました！



来年度も開催いたします！ お楽しみに！